

2011 年度

群馬県野生生物調査・対策報告会



日時： 2012年2月12日 日 13:00～16:30 (12:45開場)

会場： 群馬県立自然史博物館・学習室

参加費： 無料

申し込み： 不要

群馬県には、かけがえのない生き物たちを育む自然を調べ、伝え、守る活動をされている専門機関が数多くあります。

地域と密着して活動をするこれらの機関の方々が互いに出会い、ネットワークを形成していくなかで、その取り組みをより広く、一般の方々にもお伝えしたいとの思いから、報告会を開催することとなりました。

今年も、「群馬の自然の「いま」を伝えよう」をスローガンに、この報告会では、県内の野生生物たちが置かれている状況や、さまざまな取り組みを紹介するとともに、群馬の自然の「いま」を参加者全員で共有し、その未来を考えます。

県内各地のプロ集団が、一堂に会するこの貴重な機会をお見逃しなく！



お問い合わせ
群馬県立自然史博物館 学芸係
〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
TEL: 0274-60-1200 FAX: 0274-60-1250
URL: <http://www.gmnh.pref.gunma.jp>

主催：群馬県（自然環境課、自然史博物館）
後援：群馬県自然環境調査研究会、NPO 群馬県自然保護連盟、群馬野外生物学会、公益財団法人 日本自然保護連盟、NPO ぐんま緑のインタープリター協会、群馬県野生きのこ同好会、財団法人 尾瀬保護財団、利根沼田自然を愛する会、日本野鳥の会群馬、ヤリタナゴ調査会、かんな川水辺の楽校運営協議会、赤城姫を愛する集まり、NPO 法人 日本チョウ類保全協会

今年の題目

県内河川におけるコクチバスの生息状況

ツキノワグマによる人工林剥皮被害の発生状況

群馬県レッドデータブック改訂について

シカに喰われる植物たち

群馬県の昆虫類に関する現状～群馬にはたくさんの昆虫がいる！～

ヤリタナゴ保護の10年

生き物がいて人がいる～自然系施設のとりのくみ～

群馬県のチョウの現状と保全

尾瀬国立公園のツキノワグマ保護管理

尾瀬国立公園・至仏山の保全と対策

ミニ講座

群馬にサルがあらわれ始めたころ

～人里にあらわれ始めたころの生態・今の生態から読み解くサル対策～

